



にしとべの丘

「学校」

校長 野口 弘之

先週末、日本列島は2つの台風の影響を受けました。横浜市内では、土曜日の公式戦が延期となり、本校でも部活動等の活動を中止としました。かつては野分（のわき）、二百十日という言葉が表現していたように、立春から数えて210日目の9月初旬頃に台風が来ることが多いという認識だったように思いますが、やはり気候変動の影響でしょうか、梅雨の時期にも台風を心配しなければならない環境に変化してきているようです。

ところで、梅雨のこの時期、多くの中学校で「生徒総会」が行われ、生徒たちが、その年の活動について話し合う場をもっています。本校も、25日（木）の1校時に実施しました。そこでは、生徒会本部や各委員会等の年間活動計画や予算について審議し、採決が行われましたが、総会の冒頭、「校長先生のお話」の中で、「生徒総会」の意味を2点お話ししました。1点目は、学校は社会の仕組みを学ぶ場であるということ、2点目は、生徒総会は、生徒の皆さん一人ひとりがより良い西中学校にするために協力して考える場であるとの内容でした。3年生の皆さんは、社会の公民分野で「国会」など世の中の仕組みを学びますが、「生徒総会」は、そうした仕組みを疑似体験する機会であるとも言えますし、学校の授業や活動そのものが実は社会とつながっていることが分かります。教育社会学者の広田照幸は、『学校はなぜ退屈でなぜ大切なのか』という著作の中で次のように述べています。

「さまざまな教科は、われわれが生活している世界をある側面から切り取って再構成されたものです。今、子どもたちが学校であたりまえのように学んでいる国語は、日常生活であまり使わない言葉も含めて、私たちが言葉を使いこなせるようになるためのものです。算数や数学は、世界を数量的に理解する、あるいは図形的に理解するときの道具です。地理は、今生きている世界をもっと広げて知ることになるし、歴史は、時間軸で過去にさかのぼって私たちを知ることになります。物理や化学は、ものがどういうふうに変化したり、どういうふうに変質していったりするのかが、そこには原理と法則があって、それに沿って物が変わっていることを理解します。外国語は、世界の人たちとのコミュニケーションだし、音楽、美術、体育は、人間が作り出した文化をコンパクトに縮約して、それぞれの領域の知識やスキルを身に付けるものです。」

すなわち、各教科のカリキュラムは、「この世界が何なのか」について縮約・再構成された知識や文化であり、また、それをベースにした技能を習得するためのものなのです。一方で、道徳の授業や特別活動（学級活動、生徒会活動、学校行事）の時間があります。多様な他者との協働や集団活動、課題解決のための合意形成や自己実現などがその目標とされていますから、学校という場は、他者との関わり方や集団の中での行動、コミュニケーションといった社会人として生きていく力を育む場であると言えます。このように、「学校」は、社会という広い世界に出ていくための力を身に付けていく場としての重要な機能があります。本校では、本年度も、より良い授業や生徒活動の充実を図りながら、生徒の資質・能力の確実な向上を目指し、さまざまな活動に工夫して取り組んでいきます。



第63回 体育祭

6月10日(水)、この季節には珍しく少し肌寒さを感じる気候の

中、体育祭が実施されました。今年度のスローガンは「超魂～戦わなければ勝てない」です。生徒たちは勝つことにこだわりながらも、仲間と共に活動する楽しさを十分に味わっていたように感じ



小中交流演目「はまっ子ソーラン」

じました。入場行進の後に行われた開祭式では、美術部の生徒たちが長い時間をかけて制作した力作のボードが紹介され、大きな拍手が沸き起こりました。



小中交流演目の「はまっ子ソーラン」では、小6と中1の力強い共演が見られ、会場は最初から盛り上がりを見せました。この後も2年学年種目、男女の100m走、3年学年種目

と競技は続き、全校種目「全員綱引き」へ。小規模な西中学校ならではのこの種目は、学年の枠を超えて団結することが求められます。男女とも1本勝負。応援にも力が入ります。午前最後は生徒会考案種目でみんなが楽しむことができました。

午後は応援団の「エール交換」でスタートしました。練習を重ねてきた生徒たちは大きな声援を自らも浴びなが



ら、応援合戦を繰り広げました。部活動対抗リレー、1年学年種目、アドベンチャーレース



と種目は進み、もう一つの全校種目「大縄跳び」が行われました。

昼休みの練習の成果を十分発揮しました。最後は紅白対抗選抜リレー。代表生徒に大きな歓声を送られました。ご来校いただいた皆様、本当にありがとうございました。

PTA 保健委員より

6月18日(木)西公会堂にて「横浜市学校保健会総会」が開催され、大学の教授による記念講演が行われました。演題は「オーバードーズの現状と医薬品教育の重要性」です。PTA 保健委員の方々が参加しました。

中高生の薬物乱用の経験率の高さや、違法薬物よりも市販薬によるオーバードーズが圧倒的に多い現状に驚きました。防止するためには、正しい知識を身に付け、自尊感情を高めることも大切だと学びました。子どもと話し合うきっかけにしたいと思える大変有意義な講演会でした。(1年小野寺沙織さん)

今回の講演を受け、オーバードーズは単なる薬の知識不足だけでなく、ストレスや孤独感、自己肯定感の低さなど、様々な要因が重なって起こる問題であることを学びました。正しい知識を伝えるとともに、周囲に相談しやすい環境をつくることも大切だと感じました。(1年須藤沙織さん)

先日の学校保健会総会にてオーバードーズと医薬品教育に関する講演を聴きました。市販薬の乱用が身近な問題になっている現状に驚くとともに正しい知識を伝える教育の重要性を学びました。家庭でも薬の管理や子どもとのコミュニケーションを大切にしていきたいと感じる大変有意義な講演でした。

(2年鈴木綾乃さん)

梅雨の時期です。山々の木々や横浜の水瓶を潤すために必須であることを理解はしているものの、日々青空を切望する季節でもあります。また、店先には「茄子・トマト・きゅうり」など夏野菜が、「食べるのは今でしょ」とばかりに色鮮やかに並んでおり、「初夏の旬」を感じる彩りに目が止まります。料理研究家、食育コーディネーターでもあり、横浜市食育推進部会委員を務めさせていただいている長島由佳です。2016年より西中学校に食育コラムを寄稿し始めて、11年目になりました。当時の林校長先生とのご縁で始まった「食で学ぶ 食を学ぶ」は、その後石川校長先生、そして野口校長先生と、ご縁のある先生方との再会の場ともなりました。

この間、PTA主催で『お弁当に役立つメニュー』などの食育教室を数回開催したこともありました。教育委員会健康教育課主催の給食試食会では、はま弁で学ぶと題し、子ども達とのコミュニケーションでの伝え方などのお話をさせていただきました。中学校ランチの変化とともに、子どもたちの未来を応援するものとして、保護者・地域の皆様と誌面を通じてつながってまいりました。今年度も、西中関係者の皆様に、人と人を繋ぐツールとしての「食」に関わるコラムをお届けしていきたいと思ひます。

さて、今の時代では、わからないことや疑問・質問を「AIにひとまず聞いてみよう」という方も多いことと思ひます。どんな分野でも、答えてくれる優れものだからです。そこで、私も「旬のものを食べるとどんないいことがあるの?」と聞いてみました。なんと、AIさんは、私が常日頃「言い伝えている通りの内容」を並べてきました。

1、おいしさが違う 2、栄養がたっぷり 3、体調を整えやすい 4、お財布にも優しい 5、季節を感じる楽しさ
100点に相当する答えに、私たち生身の人間としてできることは何でしょうか。

それは、『正しく卒のない答えに、相手の嗜好や自分の思いをブレンドし、人間の自分にしかできない一手を加えることができる「家族」「教職員」「関わる大人や友達」となること』だと考えました。

日々子ども達に対して、私たちは、家族として、担任として、顧問として、地域で見守る大人として、観察できる特権を持っています。おはようの声はどうか?いつも通りかな?ちょっと違う?と、「察する・想像する・行動する」ができるのは、そばにいる生身の人間だからだと思ひます。そこで、100回のチャンスがあれば、100通りの言葉をかけられるのも私たちだからできる喜びと思うように出来ればよいなあと思ひています。

「赤くて熟したトマト、美味しいそうだったからいっぱい食べて!大袋で安かったの!お財布にも体にも優しいよね!」そんな会話を重ねることが、赤い色と言葉で視覚・聴覚そして味覚を刺激し、五感を振るわせながら子ども達は健やかにたくましく、育っていくのではないのでしょうか。

デジタル化の良さは時間短縮や正確な回答・調査・共有などなど、たくさんあります。しかし、自然の中に生きる私たちでもあります。台風や地震などの情報も必須、備えも必須、庭の片隅に植えた大葉の苗や梅の実も大事・・双方を上手に使いこなすことを、家族で考え、言葉に出し合えればよいなあと思ひています。

今年度初のレシピを紹介いたします。ご家族で五感を震わせていただけたら、幸いです。

初夏の彩りマリネ

トマト中2こ インゲン 10本ほど 新玉ねぎ小1個 パセリみじん切り大さじ1
マリネ液(ニンニク1カケ 酢(お好みのもの)100cc オリーブオイル100cc 塩小さじ1.5 醤油小さじ1)

- ① トマトは大きめの一口大にカット。インゲンは筋を取って3~4cm長さにし、沸騰した湯で茹でたのち冷水にとり、色よく仕上げる。新玉ねぎは、ごく薄切りにし水にさらす。
- ② マリネ液を作る。ニンニクはパンとつぶし、酢・オイル・塩・醤油を合わせておく。
- ③ 水気を切った①の野菜とパセリのみじん切り・②のマリネ液を適量合わせて少し馴染ませたら出来上がりです。

※お好みの野菜で試してください



横浜市立西中学校 令和8年度 7月行事予定表

授業日数 13日

日	曜	朝	I	II	III	IV	V	VI	昼食	部活	清掃	学校行事関係等	私の予定	PTA関係等	その他
1	水	社会	1			総合			○	○	○	小中授業参観(西中授業) ④文化祭概要説明 指揮者・伴奏者・選曲係決め			SC
2	木	情報	1						○	○	×	個人面談・教科面談13:30～ 合唱曲選曲(3年)13:00～14:20	45分 授業		
3	金	英語	1			学活			○	○	×	個人面談・教科面談13:30～ 西区個別交流@老松(AM)/④スローガン決め 合唱曲選曲(2年)13:00～14:20			
4	土													緑日	
5	日														
6	月	英語	1						○	○	×	個人面談・教科面談13:30～ 合唱曲選曲(1年)13:00～14:20			SC
7	火	英語	1						○	○	×	個人面談・教科面談13:30～ 合唱曲選曲(予備)			
8	水	英語	1						○	○	×	個人面談・教科面談14:30～			SC
9	木	英語	1					学校保健委員会	○	○	×				
10	金	数学	1					総合 総合 総合	○	○	○	⑥合唱曲決め 中央委員会 生徒会役員立候補受付期間 10日～15日			
11	土														
12	日														
13	月	数学	1	道徳	道徳			総合	○	○	○	⑥1年学年レク 文化祭実行委員会 ①②全校道徳(平和学習)			SC
14	火	数学	1					総合	○	×	×	⑤2年学年レク		緑日	柔道着販売集金8:15～8:40
15	水	数学	1			学活		学活	○	○	○	文化祭有志説明会 ④⑤⑥サイバー犯罪防止教室 ⑥3年学年レク			SC
16	木	数学	1					大掃除	○	○	×				西中ブロック横浜こども会議 15:50@西中学校
17	金	朝会	1	学活	学活				○	○	×	全校朝会 ①学年集会			*標準服
18	土											ふれあい祭り(西前小) 9:50～12:30			
19	日														
20	月											海の日			神奈川私学展
21	火			夏季休業								サマーオープンスクール ①10:00～10:50 ②11:00～11:50 国際平和スピーチコンテスト			
22	水			夏季休業								サマーオープンスクール ①10:00～10:50 ②11:00～11:50			
23	木			夏季休業											造形教室
24	金			夏季休業										緑日	
25	土														
26	日														
27	月			夏季休業											学納金引き落とし
28	火			夏季休業											
29	水			夏季休業											
30	木			夏季休業											
31	金			夏季休業											